



株式会社ミドリ
導入事例その2

2017年1月27日、名古屋市東区葵。

地下鉄/JRの千種駅から、西へ徒歩数分。錦通車道の交差点から車道商店街の北方向へ。ほどなく、左手にお茶と抹茶スイーツカフェ「茶縁」がある。

その2階が、株式会社ミドリの本社事務所。お話を伺ったのは、代表取締役の伊藤弘康氏。

大正時代、四日市市にてお爺様がお茶の販売を始められて創業80年。三代目となる伊藤社長は、本物の日本茶にこだわり続ける老舗の伝統と、新しい時代の変化に敏感な、経営者としての一面を示して下さいました。

これまでに多く、メディア露出のある伊藤社長です。終始笑顔の絶えないお話には熱が入ります。今回の取材対象は、iPadタイムレコーダーについて。そこは、取材を受ける側としての事前確認もぬかりなく、頭の下がることからスタートしました。

社長は毎日打刻をする利用者ではなく、従業員の労務管理に適切な仕組みを整える経営者。日々、触れている方にその使用感や要望をまとめておくようにと、事前に指示出しをされていました。最初にズバッと、社員からの意見は、コレ。と、要望を列記頂いた印刷物を示されました。

本システムは、ミドリ様が初導入先で1年が経過。12月に2年目の更新契約を頂きました。こちらは、iPad単体利用からクラウド対応させた機能強化版。いろいろと手探りで、機能もシンプルに絞り、使い勝手の良さを主題においたもの。料金体系も、他社のスタイルとは異なるお得感を出したものとしています。このいいところをイイものとして評価いただいたお話となりました。

iPadタイムレコーダー
 **WorkStamper**
for Cloud 

株式会社ミドリ

：この製品に出会ったきっかけから教えてください。

A：フェアで。ITクラウドビジネスメッセだったかな？

Q：2015年の秋でしたか、始めてクラウド対応させたこの製品を出品していました。その場にて、ご覧頂いたのが最初でしたね。

Q：その際は、具体的な目的がおありで、来場されましたか？

A：特には。ただ、いつもIT系の情報をチェックして取り入れられるものがないかは気にしている。そうしたら、確かこの会社からウチに訪問してくれている女性がいたはずだ。ってなって。聞いてみたら、やはりそうだった。その時は、見えそうな話にならなかったけど、この時は後につながった。

Q：そこからまた何うことになって、お話が続いたと。ありがとうございます。

Q：ご導入を決断されたのには、何が決め手となりましたか。

A：コスト！それまでは、機械式のタイムレコーダーを使っていて。紙のタイムカードが以外と高い。壊れたわけでもなかったが、結局時刻を手入力する手間はかかるし、入力時間とミスがなくなる。それで、いろいろと調べていた。

そこで、ネックだったのが価格。クラウドが便利で確実なのはわかってはいたけれど、人数が増えた時に、その分価格が上がる。ひとりいくらが普通だった。紙とシステムの比較もしながら、入替のタイミングを探っていたところだった。

A：ちょうど、タイミングがよかったということですね。

Q：そう。タイミングが大事。



株式会社ミドリ



Q：人数の増減に伴う、価格の変動がないのがポイントだったと。

A：そう。一人当たりいくらの価格設定をしているところがほとんど。

そこが変わらないのは、よかった。ちょうど、当てはまった感じ。

Q：これは、他のお客様でも評価の高いところです。一時的に、人手がたくさん必要になって。やはり、飲食店系には多い状況のようですね。

A：でも、給与計算は正確さが必要で。ミスを無くしたかった。

ここで伊藤社長は、もっとイイところをわかりやすく、他とは差があることをアピールし続けなければいけないと力説されます。

ミドリさんは、ホームページを業務内容に分けて、4つ設けられています。

- ・ 給茶機のみどり <http://www.ochaya.net/>
- ・ お抹茶のみどりや茶舗 <http://www.m-ocha.co.jp>
- ・ お茶の総合卸ミドリ <http://www.cha-oroshi.com>
- ・ 日本茶喫茶「茶縁」 <http://www.chaen-cafe.com>

常に情報を更新して、いつも改善を続けている会社であることを示す様になっている。

長年、SEO対策も模索を続けて、検索結果はほぼ上位に現れる。とのお話。

株式会社ミドリ

さらに話は、IT活用をしないといけない状況である。と、展開。

もっと、効率化を図らないといけないと主張される。本システムを導入したことにより、従来まで15分単位の労務時間管理だったのを1分単位に変更された。

この話は、先のお客様と全く同様であった。1分単位で、働いた時間を記録して、その分も正確に給与に反映する。その為、従業員の時間に対する意識変化がうまれているとの話である。

A：ウチは、有給休暇も全員が全日取得消化している。そうすると最大で20日。年間150日ぐらいが休日。ということは、2日働いて1日休みの働き方になり、その分時間効率を上げないとやっていけなくなる。

これらは、まさしく昨今の労働環境の変化に対応した経営者としての決断である。そのあたりから、話は1Fの抹茶カフェ「茶縁」のことに。

Q：IT活用と言えば、茶縁のネットのちからはすごいと。

A：抹茶の七福神は、メニューに載せて1年。6000セット以上が出た。最初は、限定としないで始めた。七品をすべて手作りで揃えないと提供できないから、夜中までずっと作っていたよ。このままでは続かないと、限定品にした。来店客がネット発信し、さらにお客様を連れてくる。

Q：インスタグラム（#茶縁の検索で9割近くは、抹茶の七福神のショット）の流れに合致して、凄い勢いですね。先ほども、外に行列ができていましたよ。

A：確実に食べられるとなると朝。食べたい人は、みんな朝から並んでるよ。

オレだったら¥1,600-あれば、ステーキ食うよ。(笑)

凄いよね。若い子の発想は。全部お店のスタッフのアイデア。

オレは、口出ししない。金を出すだけ。(笑)

豪快に笑い飛ばしながらの会話の中では、各所のスタンスが確立しているという、成長の秘訣が垣間見れた。



Q:ところで、ご要望のリストも頂きましたが。

A:文字が小さいのが。名前の選び間違いがある。お店の表示も小さい字で、読みづらい。若い人はいいけど、歳の人には見えなくて、直させた。

これは、顔写真登録モードでは、顔写真の下に表示される名前表示が小さめになってしまう。ミドリさんは、顔写真を使用しないで、このモード表示にされている。

Q:あと、マスター登録を代わりにやってくれると聞いて話。

A:スタートアップの手間を省くサービスとしての、登録入力代行の様な。ですね。

Q:一度、導入して慣れるとなかなか手放せないことになるのも確か。

A:お聞きした、ご意見/ご要望をできる限り取り入れられる様、改良を続けてまいります。また、ご案内をさせていただきます。

お忙しい中、ありがとうございました。

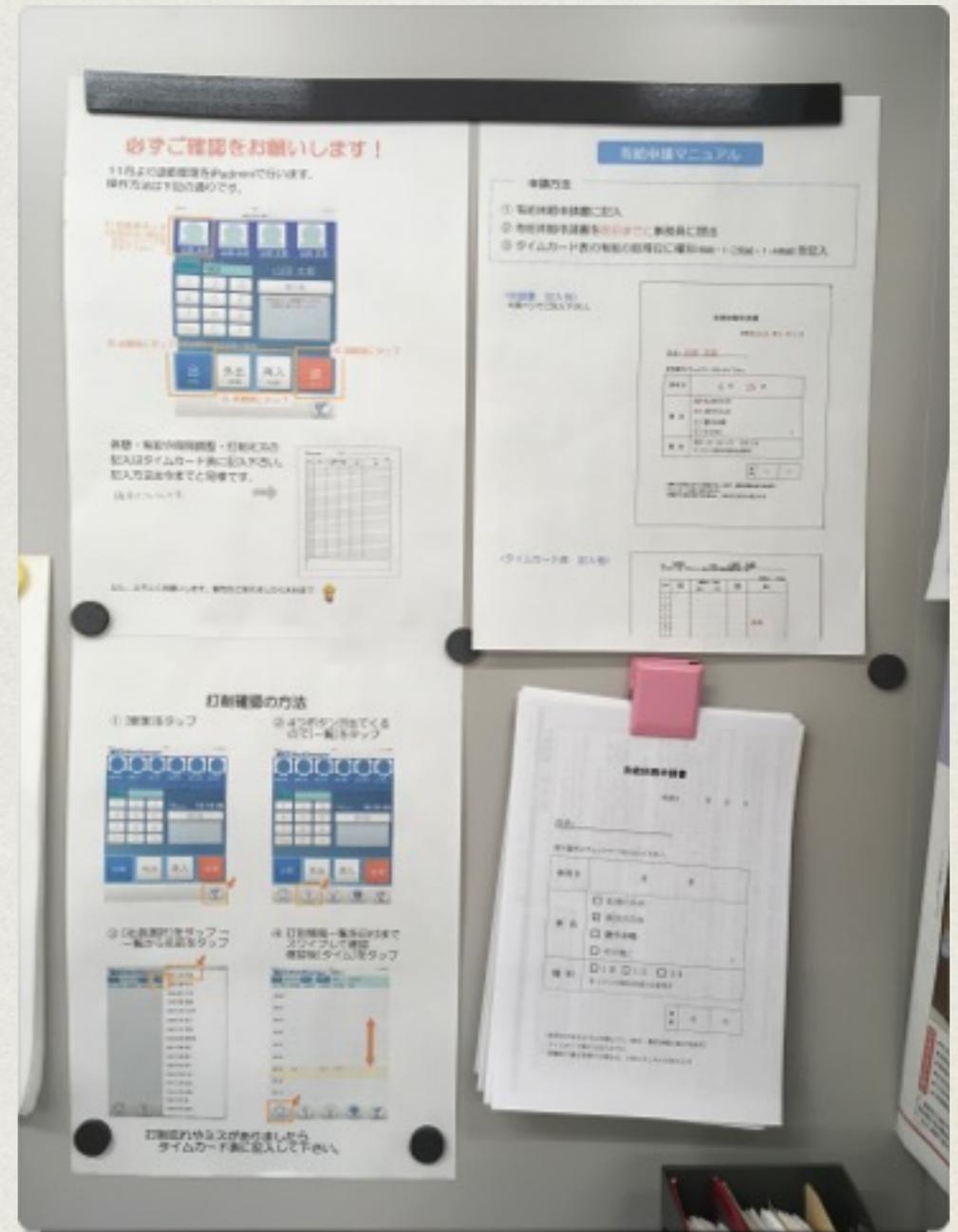
お話の中では、営業がタブレットで外出先から顧客情報を確認し、地図情報と連携して訪問活動を効率化している様子もご紹介頂いた。

常に、働き方が見直されている世の中の動きに対応するべく、IT関連に目を向けておられる伊藤社長。今後も、様々な提案から長いおつきあいが続きそうである。



秀逸なのが貼り出されていた、オリジナルの操作説明書👉

ちょっとした工夫も、とっても大切。
こういった現場レベルのサポートを提供できるようにしたいものです。



株式会社ミドリ

導入前の課題感

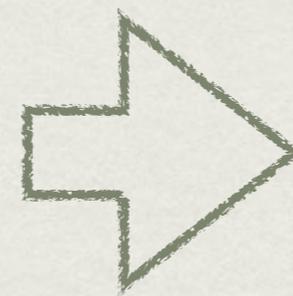
既存のタイムレコーダーでは
用紙のコスト高
時刻転記の手間

導入ポイント

利用者が増加してもコスト変動なし
打刻の正確さと集計データの取り扱いが容易

導入後の効果

働き方の多様化に合っている
1分単位で正確に管理



時間効率化へ
の高い意識